

2011年1月13日

各 位

双日株式会社

双日、ナミビア初の風力発電事業について共同開発契約に調印
～ アフリカのサブサハラで日本企業初の IPP プロジェクト ～

双日株式会社は、ナミビアの UAG (本社: ウィントフック、United Africa Group(Pty) Ltd.) と韓国の KOMIPO (韓国中部電力/本社: ソウル、Korea Midland Power Co., Ltd.) との間で、ナミビアで初めてとなる風力発電事業の推進について協業することに合意し、共同開発契約に調印しました。アフリカのサブサハラで日本企業が IPP (独立系発電事業者) 事業に参画するのは初めてのことになります。

ナミビア南西のルードリッツに建設予定の風力発電は、発電容量が 44MW、総事業費は約 1 億 5 千万ドルを見込んでおり、プロジェクトファイナンスによる資金調達を予定しています。今後、建設予定地での詳細な風況調査を実施し、2011 年上半期にナミビア国営電力会社との間で長期売電契約を締結し、2013 年に操業を開始する目標です。また、第 2 期として 90MW まで発電容量を拡張することが計画されています。

ナミビアは国内電力需要の過半を南アフリカなど近隣諸国からの比較的安価な電力輸入に依存しています。しかし、同地域の電力需要増大により、今後は電力価格の大幅値上げが予定されていることから、自前の発電能力増強を政策として掲げています。また、環境負荷の少ない再生可能エネルギーの導入にも取り組んでおり、ルードリッツの風力発電事業が有望なプロジェクトとして位置付けられています。

ナミビアはウラン、ダイヤモンド、天然ガス等の豊富な鉱物資源に恵まれ、安定した経済成長を遂げてきました。近年ではレアアースの埋蔵でも注目されており、海外からの開発や投資が活発になるなどビジネスチャンスが拡大しています。

UAG は、ナミビアでウランや天然ガスなどの資源開発や不動産・ホテル運営など幅広い事業を展開する事業会社で、2007 年から風力発電事業に着手しています。双日は、同社が持つノウハウやネットワークを生かし、発電事業のみならずインフラ開発をはじめとした新規ビジネスに取り組んでいきます。

KOMIPO は、韓国電力公社の 100%子会社で、火力・風力・潮力などの発電事業およびメンテナンスやコンサルト業務に携わっており、アフリカでの発電事業開発に積極的に取り組んでいます。双日は KOMIPO とアフリカでの発電事業推進について戦略的提携を結んでおり、ナミビア以外でも協業を進めていきます。

双日は、アフリカを重点地域と位置付けており、戦略要員を派遣して市場開拓に取り組んでいます。今後もアフリカでの IPP 事業やプラント建設など大型プロジェクトの開発や推進に取り組んでいきます。



【本件に関する問い合わせ】

双日株式会社 広報部 03-5520-3188